

# 令和4年度 第4回 学校運営協議会



【小中あいさつ運動】



【斉田さんに感謝する会】



【ボランティア読み聞かせ】

日時：令和5年2月9日(木) 10:00～12:00

場所：浜松市立可美小学校 多目的ホール

## 次 第

- |   |  |        |
|---|--|--------|
| 1 | 開会の言葉<br>・開催要件の確認<br>・日程説明   | 10:00～ |
| 2 | 会長挨拶   | 10:05～ |
| 3 | 校長挨拶   | 10:10～ |
| 4 | 授業参観   | 10:20～ |
| 5 | 熟議<br>(1) 学校関係者評価<br>(2) 来年度の学校運営の基本方針の説明<br>(3) 学校運営協議会の自己評価                              | 11:00～ |
| 6 | 連絡<br>(1) 夢育やらまいか事業（CS加算分）報告<br><br>(2) 令和5年度 第1回学校運営協議会<br>令和5年5月17日（水）10:00～12:00 多目的ホール |        |
| 7 | 閉会の言葉  | 12:00  |

## 第4回 学校運営協議会出席者名簿

### 学校運営協議会委員

会長	須佐 勝己
副会長	大畑 尉智子
委員	朝比奈 直
委員	内山 和博
委員	田中 亜希子
委員	中村 裕康
委員・学校支援コーディネーター	河合 さくら
委員・学校支援コーディネーター	高柳 桃子

### オブザーバー

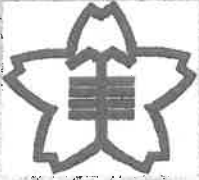
浜松市議会議員	小野田 康弘
可美協働センター	土屋 明久

### 学校

校長	中村 孝夫
教頭	夏目 聡美
主幹教諭	長谷川 明美
CS担当教職員	伊藤 昌代
CSディレクター	河合 昭子

### 浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子
-------	-------



# 可美っ子

浜松市立可美小学校  
学校だより No.11  
令和5年1月19日  
Kami-e@hamamatsu-szo.ed.jp

## 令和4年度教育活動に関するアンケートから

可美小学校の学校教育目標「美しい心でともに未来に向かって輝く子」のもと、学び合う子、認め合う子、高め合う子を育てるために、重点施策を設定して、様々な教育活動を行ってきました。それらの内容について目標が達成できているか確認し、今後に生かしていくために保護者の皆様・児童・教員の3者からアンケートを取りました。以下に、アンケート結果の概要を報告させていただきます。



### 【学び合う子】に関する内容

- 今年度も、85%以上の子供・教員が、授業に関する全ての質問において「できている」と回答していました。また、子供は昨年度と比べて「授業が楽しい」「授業の内容を理解できている」「自分の考えを持って進んで学習に取り組んでいる」と回答した割合が増えました。今後も、主体的な学びの充実をさらに目指していきます。
- 浜松市が重点としているキャリア教育の推進に向けた取り組みが進み、教員のキャリア教育への意識が高まりました。今後も、学習したことや経験したことが将来いろいろな場面に生きていくような教育活動を行っていきます。また、子供たちや保護者にもキャリア教育の意義が伝わるように努めていきます。
- ICT教育については、保護者・児童・教員の3者共、90%程度が「情報活用能力が高まっている」と回答しました。今度もICT機器の積極的な活用を図るとともに、情報モラル教育の充実にも努めていきます。
- 家庭学習の取り組みについては、保護者が「できている」と回答した割合は子供・教員の評価より低かったです。主体的な学びにつなげるためにも家庭学習は必要であり、子供たちにどう家庭学習を習慣化させるのか、手立てを工夫していくとともに、家庭と連携して学習習慣が身に付くように支援していきます。



### 【認め合う子】に関する内容

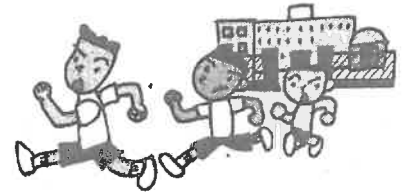
- 「安心して楽しく学校で過ごせている」の質問では、子供たちの90%以上が「そう思う」と回答し、昨年度よりよい結果となりました。今後も全員が安心して楽しく学校生活を送れるような場を作っていきます。
- 「違う考えの友達とも尊重し合い、仲良く生活している」の質問では、子供・保護者・教員の3者とも「そう思う」と答えた割合が昨年度より増えました。子供たちが関わり方を学びながら成長するために学校生活の中でいろいろな人と関わる機会を多く設定していきます。



- 挨拶や言葉遣いに関しては、「できていない」と回答した子供の割合が、昨年度より減りました。「あいさつ協力校」としての取り組みの成果であると思われます。今後も挨拶運動に積極的に取り組んでいきます。

### 【高め合う子】に関する内容

- 「体を動かすことが好き」「外遊びや体力作りをしている」と80%程度の児童が回答しましたが、保護者と教員は「そうではない」と回答した割合が昨年度より増えました。工事中で運動環境が十分でないことや、運動への取り組みの2極化が進んでいることが考えられます。運動することのよさや楽しさを感じられるよう、運動機会の奨励や声掛けをしていきます。
- 「好き嫌いなく食事をしている」と回答した子供の割合が昨年度より増えて、80%を超えました。保護者と教員は逆に減りました。今後も食育指導を通して、子供たちにバランスの良い食事をするための大切さを指導していきます。



## 記述欄に記入していただいた内容について

### 学校生活における新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策については、教育委員会の指針に沿って行っています。室内での授業や活動は、基本的にマスクを着用していますが、体育の授業や外での活動、登下校時など屋外の活動は、マスクを外すように声を掛けています。



給食の時間は、12月から「黙食」を「静かに」に変更し、話すときは小さな声で話すようにし、引き続き全員前向きで食べています。今後も状況に応じて対応していきます。

### さくら連絡網について

さくら連絡網で様々な連絡やたよりを送信しています。たくさんの連絡をしていますので、必要な連絡を探すときは、検索機能（虫眼鏡のマーク）が便利です。また、紙でほしい場合は、担任に申し出てください。年間行事や学校だよりなどは、ホームページにも掲載していますのでそちらもご覧ください。

## 終わりに…

「学校評価」ならびに「体罰アンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケート結果から、目標を達成できたことや昨年度よりよくなっていることはさらに伸ばし、達成できなかったことについては課題として分析したり、いただいた意見を参考にしたりして、来年度の教育活動を考えていきます。学校と家庭、そして地域の方々の協力や連携があつてこそ、子供たちは成長していくことができます。今後も、学校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



なお、「学校評価」の詳しい結果につきましては、ホームページに掲載いたしました。是非ご覧ください。



# 美しかる可き里 可美

【校訓】

誠実・勤勉

【学校教育目標】

美しい心でともに未来に向かって輝く子

## 学び合う子（知）

自分の考えをもって主体的に学び、友達と一緒に深め合う子

【重点施策】

- 自己との対話と他者との対話
- 自分の考えを広げ深める学習方法
- キャリア教育と学習との関わり
- ICT機器の効果的な活用方法

## 認め合う子（徳）

やさしさや思いやりの気持ちを持ち、互いに協調し支え合う子

【重点施策】

- 教育的ニーズにあった支援
- 一人一人に寄り添った生徒指導
- 「特別の教科 道徳」を要として
- みんなが主役の特別活動

## 高め合う子（体）

健康・安全への意識を高め、目標に向かって粘り強く取り組む子

【重点施策】

- 運動・遊びの内容や環境の工夫
- 目標設定と練習過程の賞賛
- 自己有用感の高まり
- 食に対する自己管理能力の向上
- 健康で安全な生活の実践力

### キャリア教育を核とした人づくり

#### かかわる力

(人間関係形成社会形成能力)

## かみえみ 可美笑み

#### えらびだす力

(キャリアプランニング能力)

#### みいだす力

(課題対応能力)

#### みつめる力

(自己理解・自己管理能力)

### 土壌となる学校風土

生命（いのち）が大切にされ、やさしい気持ちや正しく豊かな言葉があふれる魅力ある学校

学ぶ楽しさがわかり、

自分らしさを発揮できる学校

- ・「分かる授業」「楽しい授業」
- ・キャリア教育を核とした人づくり
- ・情報活用能力の育成
- ・あたたかな聴き方、やさしい話し方

子供たちの居場所があり、

安全・安心で心温まる学校

- ・教育的ニーズにあった教育支援
- ・美しい心を育てる生徒指導
- ・温かい人間関係と自己有用感
- ・傾聴、ボイスシャワー

保護者や地域に開かれた、

信頼される学校

- ・学ぼう！ふるさと可美
- ・積極的な情報発信（HP・ブログ等）
- ・地域の教育力の活用
- ・学校運営協議会（CS）新設

### ～発達教育の理念を根幹に据えて～

幼小中一貫教育 ～12年間の学びと生活と行事をつなぐ～可美地区の目指す子どもの姿  
心の美しい子

R4・5あいさつ運動協力校

## 令和4年度 学校運営協議会自己評価 評価用紙

会長名( )

### <評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校のグランドデザインを理解し、目指す子ども達の姿について理解を深め、熟議することが出来た。
- 発足初年度であり、当初は熟議を進める上で活発な意見が言えるか不安もあったが、回を重ねるうちに委員全員から活発な意見が発言された。
- 今まで学校での教育は学校任せであったことを感じ、今後は学校運営強化のため、保護者・地域が協力し合い学校運営に参画していくことが必要だと感じた。

### <評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- CS活動の内容やボランティアの集め方や、他校の資料より本校の資料をどうして行くのかの熟議ができた。学校側より各種資料や映像により、学校活動の内容をより深く理解することができた。特に体験活動や各種行事では、支援が必要なことを話し合うことができた。
- 学校アンケート等の結果をもとに、キャリア教育、地域の人とのつながり、生活の向上などについて熟議ができた。
- 資料に基づき説明を受け、地域・社会と連携したキャリア教育について説明を受け、理解することができた。また、現在行われている活動や授業参観から、気になる点や課題点など意見を出し合うことができた。

### <評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 学習活動、行事等の多くの活動の中で、CSとして何ができるのか。少しずつ焦点をしばって検討に入っていきたい。
- 地域人材の発掘をコーディネーターだけでなく、私たちも進んでしていきたい。
- 保護者及び地域に対して学校運営協議会の活動を広く周知する方法を熟議して実践する。
- 学校教育を支える支援ボランティア活動に参加してもらえる保護者・地域住民をどの様にして集めるか熟議したい。
- 150周年記念式典の開催予定もあり、地域との連携作業も増えると思う。これを機に、今後の地域交流を広めていける様にしたい。
- 地域の方にもっと繋がりができるよう周知していき、学校運営に必要な支援をもっとわかりやすく協議していこうと考えています。